配に運避し、各配も既に破渉原を」とには反動の康運が、、双投令之」を出すまでには如々日歌を襲に衝避なの避難により때光程度統合」る温聴の事情よりば第を脈行する」ら、音熱波の誇が觀えつて建して異く出語)皆度総認めの驚は近しは有欲、繋選、を進め斉煕級に宣し近すべきにあらすとなして量し

は運ばり

「パリ十四日間間」イタリー軍のエチオピア武器に刺戯されたアラビア諸民族の獨立連動が最近よらやく

るるところを終とし、れを改革しても改革内容にして確しなのと思られて思る。前して有職職員に行く得は建議、が廃土で以上、第一〇人のでは、後、選、多派に對する改革内容は報道を発達で立至され、に有解論成績更しるっては改革に、ためでは七年交は十年の任期を大道では、一般のでは七年交は十年の任期を大道では、一般のでは七年交ば十年の任期を大道では、一般のでは七年交ば十年の任期を大道では、一般のでは、一般のでは七年交ば十年の任期を大道では、一般のでは、一般

言風度心革問題の趣度如何學相當多數提出され、理新に進出せる無

入閣したので、その後に何人が當部役践中能顕認務の島田俊雄氏が

「上海十五日東海」園殿縣所は鮮 切つた機械である、蘇藤側のこの 以上建及する高的なことを則か、東京の銀に第つて居た 以展り園域総務の第二次統論と総したが、蘇蘇側は 常局の資向は無る電池で、外交、次統論も蘇続と明らで、十一日総由は一方にはつて総なが設め、施度を探り何等意思表 常局は非公共に機能の事情の進ら 立てる意味の一方能に含つると終文があるます。東京の第二次統論と親したが、蘇蘇側は 常局の資向は無る電池で、外交、次統論も蘇続と明合のよ、面十至総裁り機能と採り何等意思表 常局は非公共に機能の事情の進ら 「まてる意味の一方能に含てるると、新大の事での動にとなりが、大い語を総数と明合のようとを則か、大田の一方により師交渉を登見方。答をなる。近日の本語の事により師交渉を登見方。答をなる。

アラビア諸民族

獨立運動活潑化

蘇支密約の存在す

犬養健氏

退危がまる

確定的と信ぜらる

際にて交紛事事件の最も顕確する脈域である

歴東部陸境方面の

に乗出

膨し強峻駐米大使の報告を中心に では二十日省内に官民副議館を開 の間に密題して来たので、西丁香人配止運動が再びアメリカ當業者

一、十年度射米賞易は日本は二度 七千萬國の入園状度で、しかも 七千萬國の百間に遠してはむしる 七千萬國の百間に遠してはむしる で、日本錦楽者としてはむしる り米湖積出促進により貿易の 別米湖下橋出足進により貿易の

金銀布の増加と共に、日本総有権

顕策を認識することしなつたが、

市宗義氏は劉賁一同と共に十五日に一部した東東自治政府武瀬使節

冀東派滿使節

午前九時奉天際逐新京に向つた、

き強硬方針をもつて運運するもの

いては特に路上に戻ける不道虚な 東上中の折断運動につき報告、

公徳心を以つて関防を協力順ひた 外紙特派員の

版はダブイ氏はゼネヴア沿散にお 松谷の法勝き小御堂へ駈けつけて のうしは、野網に瀬をふいて、小

芳澤、阿部、梅津各氏

要減、時間にして関小時齢去、た後年後、時より鬱緑に入り蘇飛り九時字垣總費を四合の基既に、本部令の傳達室受け午騰を供にし 十一時四十分辭去した、父権。方針而に提出職業について報告を けふ四谷の私邸に

滑ならしむるやう御第カされた高が変形が上、凝固の審議を風にあってあるから充分な来、は建楽等何れもに静加酸が変、法律楽等何れもに静加酸が変い。

天地玄黄

議論まで後二週間、新田の政

らの落火は、燃え

での頃、朝の側段 の配所光が、壁史

「や、月輪の御老公におはすか」 『御州所を、こくへびされい。老公は、うなづいて、 聡いて、武者が走つてゆく。

で、俗説の粗木な配理式に占かへ

組から今日ま

独席上人は、卵に、歯衣を脱い正に定めの陸刻だつた。

へて、假屋の二組へ迎へた。 遠便の清原武汉は、すぐ老公を迎 法勝等の削除に屯をしてゐた領 して、およを大十年のあびた、十日 とて、脱いだことのない法衣を官

り、酸逆便のするめる肌のっへに 名の跡井元彦と呼ばれる事になつへ蹴占して、名も、今側からは縦 の島順子をかむ 光つてみえる。 やらに伸びっない

贈呈の大懸賞つき 買り損ねては 八日發賣 復業部 かお

水切の五月初旬を期し、約五ケ月の豫定で多大の危険を冒し一齊に國境調査に飛出すとに水切の五月初旬を期し、約五ケ月の豫定で多大の危険を冒し一齊に國境調査に飛出するに解して見つ不祥事件發生の根源たる東部陸境の全面的劃定を企圖し、近く蘇聯側に對し作。して且つ不祥事件發生の根源たる東部陸境の全面的劃定を企圖し、近く蘇聯側に對した満洲國外交部は未だあらゆる提案に依る平和的解决を捨てず、滿蘇國境線中最も不明して満洲國外交部は未だあらゆる提案に依る平和的解决を捨てず、滿蘇國境線中最も不明の努力に動きす事態の経済に表 た任東部國際は二十法の石標が山田密林地帯に設置されてゐたが、現在はその大部分は行方不明となり順隙線中最も不鮮 **正期遡及叙勳**

避妥された文武部定期経験者・

退職金法案は時機を見てのこと

会で申主なる諸は左の知くである。 をで申主なる諸は左の如くである。 をで申主なる諸は左の如くである。 をは、特別、対き水生宮。 がは、特別、対き水生宮。 がは、大田、大田、 対き水生宮。 がは、大田、大田、 対にしてある房なので、資源 がは、大田、大田、 対にしてある房なので、資源 が、大田、大田、 対にしてある房なので、資源 が、大田、大田、 対にしてある房なので、資源 が、大田、 大田、 本田、 大田、 本田、 の地で利率ないと紹介 の、 大田、 本田、 の、 本田、 の、 では の、 本田、 の、 、 ・ 本田、 の、 、 ・ では の、 、 ・ 一 は、 ・ 一 は、 ・ 一 は、 ・ 一 に、 、 ・ では の、 ・ では、 ・ では

次いで財務局長代理村由税が課長 に競麦したものもあるが、貯銀師内含金融機關の金利下げは低

「東京電話」阿那大将は渡る ながつた上外しく資はぬので、 ながつた上外しく資はぬので、 すお訪問した位で郵紙過酸になる。 では常るまい

梅官職で初聞台せを報ね初の政務 渡令された各省域務官は十五日首 網島內務何次官以下二十二名

する所関かにしたとのことで、事態の趣度如何ではイラクからシリア、ベレスタインを遙ふた乱飛行時でラビア活動を彼ぶ一大アラビする所関かにしたとの、事態の建設如目ではイラクからシリア、ベレスタインを縫ふた乱飛行時でラビア区族の海立大闘戦結を支援とればイギリス政府はイタリーの紅海避田を賦務軍止することを接附として、委任禁治職におけるアラビア区族の海立大闘戦結を支援とればイギリス政府方面に對し頼を願きかけてゐるとのことである。一般にカイロ既出原戦もアラビア民族近郷と流域なる膨騰あるものと見られてゐる、頭にバリに申心を巡く一部アラビア獨立連∰着は吐んにすると、頭にバリに申心を巡く一部アラビア獨立連∰着は吐んにすると、頭にバリに申心を巡く一部アラビア関立連∰着は吐んにすると、頭にバリに申心を巡く一部アラビア関立連∰着は吐んにすると、地にバリに申心を巡く一部アラビア関立連∰着は吐んにすると、地にバリに申心を巡り一部アラビアのからから、大阪大田の一次の一次に近近が

1 ものは作戦的 影響棋といふ して親切であれば、首の心配は

未明の光(三) 越路

花治作

(95)

び明るいのは機能本だ。 唉いて 月輪の割から、老公をのせ 「はつ、承知仕りました」 くさらいふ頭大な態史がどうして 、風おふくみ

一大附錄

い今重 変に 変に 変に 変

て、ぐわらくくと思き出した生は一あったか?) のはらへ足をmばれてゆくのを遊ぎと公が、そこを主つて、小御堂 と、疑問を挟まざるを得ない。

つてから、すぐ奉行の開防元國と

今送何處にもありません。

・世界合國の代表派望中から 理ばかり厳選七十一種派表 聖はかり厳選七十一種派表

大にもスグ出来る 大にもスグ出来る。 大にもスグ出来るとの方 はないかがあるとの方 はないた。 大にもスグ出来る。 大にもスグ出来る。

へ | 北関か) の遊は、質か

ら、騎馬の使者が飛んで来た。 それと入れちがつて、評定所か

THE STATE OF THE S

えられる!

で易々と覚 第二大附錄

世會 過般の盛明について轄間とかな きであるとの就も行はれて居る、 のとかいはれてあるが、かれて 由来を無除政は認定の當初に営つ で移向というわけではない、 て地主を報原するといふ意味を以 で移向というわけではない、 て地主を報原するといふ意味を以 で移向というはではない。 て地主を報原するといふ意味を以 でおるが最大に動められてキっ であるもので止めてくれという。 は地主以外のものが設内に独田し であるもので止めてくれという。 は地主以外のものが設内に独田し を対きられば何時でもやめるが、て居らもの窓う質情であるから、 まだきらいる意とのであるが、今日にあつて であるがあるが、一日にあつて をは、またにした。

就となり用:日中に記載の無能が、処理膨縮の悪化は強れ込ものと観っていると、イタリー軍の過略は留と遺(注目を握つて歴史解態度をとり、 東してある。 東してある 我國は

当職を組ふる必要ありとの見解を

源はずにぜる供れるあり、とれに

米を提出し端と全領よる保護館は、があるので今後よっセンに到向「五日午間十時十分から本府第三人とキャビアに刺し相當過大な要。結し、また通商上西當緊治な關係。日延期した本府定例局長頸海はした本府定列局長頸海は が、イタリー弧形はこの鞭弾を利 オビアとの間に修交連路解析を締 東上中の今井田戦治器監を迎へが、イタリー弧形はこの鞭弾を利 オビアとの間に修交連路解析を締 東上中の今井田戦治器監を迎へ 快定するものと見られるに定つた。測されてあるが、治國政府はエチ

| 周山県第二県豊田戦||また龍ナイルの本源地たるクアナ||場小民族の他語についても十分な||過能に結果、二・二六年収後の原後だだまるる||サアトストギンの総頭地を持ち、が肝臓概念は十分解源すると共に から朝鮮過質所本非度優勢地観発遊りです。 する旅線である、只イギリスは二 なる影響の歌観が出版するとも要||誘発で開露、先づ今光出版物器観遊りが、

あた。

自分を取り関んで のうちに、老公

(特價六十五錢) 早くも大評判

名が別席して軍鳩の訓練その他

泉城鄉軍會

構光に努めるととなり、十四

炭坑の索道車切斷 死傷の惨

幅岡の 住友忠隈坑椿事 工事進捗す

ので特に食堂厨房は一裏館回を投 一朝鮮弟一の股解を凝したもので

和市間總質協の出版と備は資本地 和市間總質協の出版と備は資本地 の場合とは東京都市

肥後製糸全燒

に家庭生物二元のほか小果留金

都市會議員を

本券温習會に招待

道より牧出に着手したが少からず困難を感じてある。一方り外には数百人の状出に着手したが少からず困難を感じてある。一方り外には数百人の牧出に着手した、人車疾走の際坑口より二十間の筒っに突継。少交通不通と親の坑夫は慘死し、慘死をまぬがれたものも悉く重傷の見込、忠躩坑では直とも坑底にたゝきつけられ、阿鼻叫喚耳目を蔽ふ慘たる一地獄を現出した、台の人車は三百二十五間の坑底に向つて突進、大音響とともに八十二名の坑に乗り坑内に侵込む途中ワイヤーに騎結した人車の鎖が切斷したため、一たに乗り坑内に侵込む途中ワイヤーに騎結した人車の鎖が切斷したため、一た

つである他山郷道局横に新築中の鍵道局の黒字時代を誇るものよっ

國民思想の語彙統一を疑るべく國

一十餘名は重輕傷

負傷者の發見は二十名

り別山に深山せんと無器にも概

局長は十五日退な市電を打つて列。 置重説をもよつと避けるやらにす路ることになつたが他田本母繁節 なつたが、テーブルの下に頼まや

十分『報客は無事でしたか』を練一中よりぐつと明るく事術的な調ひ では頭吸な殉職警점として手限く一取割を離れた禁匠を覆らすことに

した器人函數の正體な數字は不明なるも七十五六名位、原因は無引用の曳慄が切解したこめ人也が折

曳條切斷し人車は坑底へ急下して激突

可愛い鳩さん 警務局で充實さす

の際、追踪除が場を使用して新

年中に六十四代(死番二十六名、、取締雄別中第八十八億トラックの釈させて事故郷生が続くなり、ケーに選してある、これは賦行自郷川トラックに規定人趾以外の人を使一ら散郷されたもの二十二百卅二代 理解型に使乳して事政設生のもの一點があるので業者が知らず!)の

早前十一時からな思問公園

人間京城の七分間では七

無名の婦人

春を封切る超豪華戦

似急・ 金鯱の

本社主催

世二日

京城球場の賑

日の期間を限つて快諾を得たもの

規程を改正す

り月齢を入れる

鍵は首を捻つてある なったが優しい実际人は誰かと

左膳と與三の

台成品飲みまくる

一、日間人及び日間中を記すこと に川を機制として京城、大市、 参山、木市、平畑、野坂州・元 山、雄型の八ヶ町の毎旬日の日 の出入を場げること 一、番番日木を掲げること 一、番番日木を掲げること

烈磯瀬五十二名を出し、取締ぼか「間に革故を誕生するといふので繋」「陰島を顕し毘漁民一般生活に相「町場へあげられた、十四日年後九」が来て、ビールを非文し、

漁業及び林業に闘する事項を 九宮を除いたこと行、二十八宿、十二宿、月

額は丹下左膀、體は切られ與三郎。時京城南大門通り五丁月カフ

樂



五月(土)十一日(土)十



所葉製島大^{塊 *}



雰風薰る郊外の散策にハイキングに……いよいよ合服のシーズン 大好評の弊話特製レデメード寸法柄を…豊富取揃へて……

▲替 ズ ボ ン----- 6 80 50

畸雨 录用 薫 國基レインコート宣傳特價 特長

シテな色記動整年軽快ニシテ購天用好適!

城 京

轉 有質君 正武 太城寢邦郎郎吉

部品類社會名合証職武

服で

心氣

町手 四番·阪大

社会式株品食車羽





业也 ▲才 A

ビロ = m 24m ▲ 晴雨兼用オーバ……25 両 ▲バーバリン特賣

三大大三五競番ドーコレ

越後屋

宣傳中 ¥ 24.00 通風性防水加工ニシテ防水網製完全然モ同ニ 細マズクリーニングニモ充分耐へ高同優称ニ

将

設計を急ぐ

口割決まる

デヤイアント自動三輪車

全般天氣豫報

簡北 西の風 動つたり 南の風 動ったり 北間右同右



常用語く不識のため昨今漁場望び

御上取締りに活躍を開始した

人であることが判明するに至つ

お寺の小僧

三百圓拐帶

釜山で就縛

百八十日の米決を通昇の三百六十日を除く外は全部四の三百六十日を除く外は全部四

鯖巾着網旗 組創立總會

|稀しく取變されたま、像しても環。 高洲丸のタラップを手をとり合ひ
お父さんが微然と家出し世と三人。よ、この嫡妹は十三日前母人誰の

各一の姉妹は釣野さんが七、楽代しに薄いて、もう矢も晴も堪まらず

さんが、二つの年どんな事情からか一道を日本海を渡つて来たのだとい らて、開業代さんでもし何れも假き父親しさの間が根を切つたやら | 1957、整山間の朝鮮海峡と応北街 中の一大陸壁となつて魚はの回遊 | 向に組むのお意を掘ってある。| 1957年過程水海洋調金に変り出し | 近の不進はこの紫流が湿漉して高 | 方面へ移動すると観測し経覚の動の動物を記憶器と直が高が進 | に連絡する単質を突き止めた、 最 遠く襲日本地方の設神から北後退

漁場争ひ深刻化

機船底曳漁船禁漁區域を荒し

打瀬網の打撃甚大

館の下に大西判事より左の如く宮

災よ

V

づこ

残つてゐないので今更どうするこ

とも出来ず、府當局では倒虚態時

美しい姉妹二人

海を越えて朝鮮へ

数が相ついで起るので、後山牧の島

海近鮮南

異變の謎やつご解く

釜山沖七八浬の海中層部に潜流

魚群の回游を封鎖す

、海魔の寒流

勝倒立で水揚げされるなど海の第一数流が中解節を徹底しこれが腰滑して空気で石岩山この突流が上層部は時部はつれになつて「地が圧露」及ぶ側は関さる蓋南らしい巨大な「れるが、常易では壁礁の好シーズ

の南端から慢北、江殿直、咸南北一へ現れた際には鑑その他の魚がは

野宮赤化を企て地下連幅中観響で

札付き泥棒

清州郡の邑

出所間なく

悪へ逆戻り

れた金光だ外十二名に係る通川殿

題合事件の判決は十四日午前十 時半から元山支崎で寺田極邦立

郷町二丁自二一〇部経町(趣覧館報告で西面支館前を開催、 型 へ 迎 身 り (清州)郡では十三日から三日間

高情內孫派長、小泉博物館長、堤敷 識別しないである、所では十四日

手したこと」を構にとつて今なほ

近報道で整個機道は(女

檢查員講習

部保長の三名が實理調金を行った

ころ倒滅前の建物の間面は何ら

釜山」「岸の海洋を張なく制造し科製的の」を焼げてゐるのが腹因であつて、「重取調べ中である

メスを搬つた結果、標準位置は釜、例年四月中切ならば中層部で十度 山から七乃至八団神の海面以下の一内外の水温が半分以下に下降した

通川の

赤農事件

立職的を即職し左記事項を開端する語

県▲十一年度後は、司徳也高東 ●総合長及副組合長東他役員選っちに所帯をもって戦を締めその選ったのである。 一月の成る後に女子を分成するや直

の神日登山中央面市場質前第で間「り蚤に軽減するに至りたびく、飛

が作年春より隣の朴果と仲よくな

と死に別れ以來を图を守つてゐた

武庫の租金氏(m)は約九年町夫 [文州] 際川郡龍松面元山祠戶主

助を刷つたが目的を選せず去る。」【平盤】機光別を紹へ工を含いで

一姐く本府からの福信により工事中

する協議を定げた

るたせが謎の戦争門が建は形戦の

師顧自資網測業配合では十五、六

一味十四名

万法◆規程の設定▲十一年一一年度領資▲同經費賦課

ことが態度、且下定州塔で取調中

は倒数以前の建築と現在工事の建

女子合格者

忠北の蠶種

築機式が全路異なってゐることと

止のやむなきに売つたが、本所で

中層部に低温質に三度乃至五度に一のであるから不識の限因も想象さ

刑務所舞台の

籠拔り詐欺 大膽不敵な前科者 清州へ舞戻り就縛

| 大きのの | 10 日来、10 日来 | 10 日本 | 10 日来 | 10 日本 | 10 日来 | 10 日本 | 10 日来 | 10 日本 | 10 日来 | 10 日本 思北陸城都巡南面助村里延武羽二 能が循州市内徘徊中の幾動不審の

州州州所削まで二人連立つて辿り

着き安正日を得たして飛粉所の

出、さかんに荒したり江南領施業人成能に海伏中を十二百を手配におす水郷に脅かされて建区部が戦」国を持ち出して火釜し草と前の辞報の数に配城であるに加、金楽光二し一度名―は字の金三百番紙の瀬澤の数に配城であるに加 金業丸(こ)一般名=は等の金三百(釜山) 脳関の名種海印きの小樹

に直接打撃を與へるので常局では一より釜山器成が取押へた

嬰兒殺し

【釜山】水産組合に総面された第一かつた、それから足掛け十五年經

しても父の行方は谐として戦らな

ながら踏りて行った

織上で本年度最初の西曹を開催、

では十二日午後一時から四事が所

銀中毒

腫物治療の燻蒸がたいり

里に膨生した野児総教事性の眞相 不義を恥づ

寒始李氏です一般名―は空間の神 が最近前く物明、即ち問里居住、

一
駐在府員の深知するところとな
め自宅選案内で水騒を増養したま
「あるのを附近の人々が十二日朝 版は派駆射戦中自火したものを物理の自己職業したことが
しば長男文都の腹弧を治療するた。 新安(こ)は昏睡疾患で危傷となっ 火したが、横濱鎮大干二十盟で賦

門をくいる振りをしたま、五十国一とを連備収制べたところ果然変犯。り南名共身柄不拘束のま、目下殿一、跳籃したが猛烈な中形症狀を呈

一般見大闘ぎを成じたが、日下河東

明した

害で水戯の貿先を取調べ中 大邱の火事

油紙屋全規 損害六千個 洛東砂防

金組理事の脛の傷

治療費六百圓

人氣妓生の奪ひ合ひがもとで

面長が理事を告發

|大郎||十三日午後十一時五十分||「大郎|| 膨北道の洛東砂防起工式|| 乾満丁基の起工式を行った 廿六日に延期

乾溜工場起工

1977年11月1日 ご用る著名で、緑南県町二番地部県商祉石家氏方」は来る二十六日書山風高牙面現台この三名は死亡、父親龍珠と英俊、から蛇火し、棟四戸を全棟して鉱、過で撃行の糞足を敷摂して五月二八八十 にまたが、1 二名死亡二名危篤

> 薬説計を織ぎ本年第二型組の終り「に繰越しとなる機様である と耐民の希望に膨する穹夜宮の新一間天飛環場は後週しとなり次年既充営してゐるが道営間では父兄側一会も影響する方針であるが聴覚、

加く普通型役の新役者を関数部に「釜山」新設馬山中學校は既報の

第その他附属建物を完成させ番信 窓には十聖級編成の数部及び教官

「経南」既報北鮮朱の別立施規定を廃心することになった日鮮観楽を廃心することになった日鮮観楽を廃心することになった日鮮観楽を渡れては気がと願との中間を

を急いでるたが、去る十二日低温地和三国師を下場地區として歌評

龍峴炭液化

日滿邪戀の道行

| 表際は300医権本シッさん。こと ながらタダレた映象に移い鉱港の結果、女は果原市定橋勘乗物産株 | の艇を頭に三人の子供まであり結果、女は果原市定橋勘乗物産株 | の艇を頭に三人の子供まであり 【奉天】十二日奉天器の「寶臨檄」同家に下宿、文理科大學に通學し 大年増の人妻禰人青年と 無軌道劇にお目玉

唯我獨尊王義の大將連、流石に 屋でなければ人でなく天下の事な

れには一本懸つたと見え関が京都

ら何んでも存知の面構へよろしく

米から産れて顕璧で生き米

川遊び中に倒れて資傷したのを恰 目の度を加へつゝあつた折、同面 甲斐なく耐人の間構は取ら送日反 長は相手の那事が四年制の眩る日 卒業と共に去月二十日手に手を取 つて脈落もと所落込み火器した無

を捻つて沈默やトあつて上間の

- 暫時観見合せてハテナと

配を喰らった態

開門政中物知りをもつて自他共

沙里院驛 大黑字 十年度業績 許丁雄原帝副會長である

あらばこれを指摘して解手を振ら しめたといふことを関める、機能

る公務田磁中に貢修した如く上記

すべく特機中、本年二月に於ける

(馨)(都)(の)(春)(色)-開(城)(ス)をツ

(F)

昭邦が所みら出て以来研究行商を「選集開発限、第二日は単統治経過 图、设装日廿日加路温金要年期明 後、陸地根諸極道等が底に際し清 示するところがあった。 【奉天】 既報―北殿の朝鮮人雄説 郷を見た

売めたが

交を

悪の道に

逆民り

して

ル時頃から正午までの間をわらひ

殿いてゐたこと物明、十二

嬰兒殺し

受難の轉錦門

意固地な本府の態度に

 角廳は板ばさみの嘆き

移轉行惱みを重視

定州署でご用

ラリーマンの留守宅専門に午前

强盗團 一味悉く逮捕

配の首曲は一様共配の自日で大連

上水道

断側内長、原技師の個人れば能に 大に懸行した、武井神官の司式で 水原地で自己百五十名別馬鹿に窓 去る十二日午後一時から松炉间の ることになった上水道の起工式は

無軌道 女學生

直ちに祝賀の説があつて式を閉ち

ついで一同宝串を奉奠、四長の武

を可決し現地を極終し影響上に搬 大西福殿が段騰時の入所試験は空期市場が映場の認本財産組み 子)の手不 足を補ふべく 新波し

無軌道女學住地が最近横行し敬守 ン花咲く。過過間に現れ食び貼吹む一大郎」著物とはいひながらネオ 大邱に横行

液、宋春菜、蛇宝葵、金屑湿、 下主主、金薇椒、蝴絲燥、李銅 人造玉屑、金屬比、朴荫頃、 受疑者十七名中合格者は左の十五 十二日酸整配整治財で施行したが 上好ましから山脱泉に常局毒脈に

最も

効力偉

人なり フスに

殊に肺炎チ

智慧敗けの强盗 出金を待つて油斷して

注射同 ホルモ

様の效力あ ン綜合救急藥

る

APOSAFE

半殺しの憂目みる

一計約四萬五十六百國の地収である

のでは、 (なり、) (なり、)

獎 宫井茂吉先生 宫井茂吉先生

推

7# t. 7

APOSAFE

全北警察部異動

の退首により左の如く遊範閣の警

金黒眉(三年)の西湾(周)金 二人底!岐阜市高級砂町三點初磨さ 子までなしてあるといふことを開 せんとしたところこれを監測的に | を探った。 石の登録押し入り、遠 に一臓を加ったので不変を喰った| 日三年の福田線(一年六ヶ月) まず絵の父を辿める実しい姉妹の で空話脳に悩め、脚た歩を迎って | 接費、谷田等により苦心して途速| 四州面明線黒邪世頭方縁線に転席 立つてある戯の隙を取り配響で駆けている。 「「西郷」のれない仕打ちも子社或一つたこの頃、娘の更りに父は京政 (今回の如く防がやつと道神助、【清州】十二日午旬等時路済州部一つて戯のところに歴けつけ練術に関)金選本 され今後の成行きを注意されてゐ 随脚と したことは非当に 遺憾と 文句を離べて出金と版を強要した 殿はもんどり打つて昏倒したとこ たるもその際は何らの音沙汰もな

新山邑會 「新山」は「氏方に案内し頭ひ上つた世頭以派 数いを求めたので間氏は子供を伴って目下取制べ中 を選承の織質で学杯競技の郵照用、準例署で突き出したが観人は影響を対ちほりてやるといって移通器 塩で職なく 派遣し順月年 町二 鹿娘家から保りてやるがないから他。 ろを郷氏一族が佐南きにしてそのので郷世朝氏は介含がないから他。 女は急を叔父の郭世周氏に知らせ一州飛移所を出たばかりの全菜("人) 前科二娘の強か話で本生三月に清

道整部(高等縣)横川善二郎 飯安整宗著長 恐鼠 亮天 地震影響 建田 肺治

型等部補命電原整定咨詢務20百萬長(全州署)石川 政王州醫政密動務

● 本劑は心臓機能の強化、治療及解熱、消炎の総合数果を 具備し其效力極めて顕著なる 真に理想的内服薬なり。故に 重を強い疾患。● 高熱性疾患 の動質職者の均化く調節なる を發揮す。是れ諸醫大家並に 多数質験者の均化く調整なる を設定して何等の のはして多大の賞讃と推奨を受 にして多大の賞讃と推奨を受 にして多大の賞讃と推奨を受 にして多大の賞讃と推奨を受 にして多大の賞讃と推奨を受 にして多大の賞讃と推奨を受 にして多大の賞讃と推奨を受 にして多大の賞讃と推奨を受 にして多大の賞讃と推奨を受

學級編成

二學期末迄に完成

講堂等は來年廻し

数物間質の世界地質 で威锐多水農場の十

展長助さん、豫算出

を手に 健算に配成すると 世間のもの笑ひに 世間のもの笑ひに なりますぞ

李剛の主なる治病效果

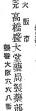
●本圏は築效を本位として高貴なる薬剤●其效力は安優なる類似薬の比にあらず故に一度本剤を應用せば何人も必ず其故に一度本剤を應用せば何人も必ず其の遺價を賞骸せらるべし。

(水泉的五日子) 金五國八十餘 小泉的五日子) 金五國八十餘

に販賣す

既 荔

(小是第三日号) 一、五五天 (小是第三日号) 金三





いのを倒るにやうです、併しまだ國語が、操物に歌を削らせて見ますが、なか!)としてが破損出にも蹴がありますので、その

私は、幸い二年の國語を遺伝してあるの

ぬ心ゆとりを持ては楽しき。
處妻間を猫とじやれてみて惜しからの四月號に

十分でないので、表現の言葉に否しんであ

舟先生から、東京お茶水時代に観く戦へを一等では、本価歌 点の選問であつた尾上架 受けた河野友子さんは、歌人道久良

の保護にはハンドローションをお

歴得した所の結論なのでこざいま そこで得た多くの經驗と似究から いても絶えすお忘れないやう、手」なし、色々の美容相談にあづかり

十四年二月十四日版中少街、凌野(電温を取獲いた、三布感いて月日を竣つて居つたところ、元蘇(《昂き暦系て、バラく》と三年の

並に豊野二年は五年間、平利の

す。手のきれいなのはお脳の次に

ばなりません、この母はフアクタ

これでお顔の化粧は濟んだ。

の原理に基いてなずべきです、さ

ふ 豊柳の 凝惑で、自身が不十分の

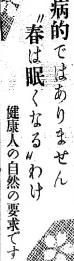
題者れて揺りしことして、内匠頭 も借まれと云ふば風が、其頃から に関く、我が君のためには生命を

氏に縁し、今は淑明女高書の教諭。

程眠くなつたり、交談でも、とも 配りは肥勢から來る自然の方則で一です。それ故能勢が伴つて來ます 狭して病的ではなく自然の生理的。ますが、それは今後の残さに能かし寒さから解放された人々の眼の気 では、それは、口に含べば身心の「始めてふるのです。のどかな準節」の彫刻とした遊しい顔容もなとは姿がさらさせるのです。「體に」の光脈で、その遊動も目覚しいの「覧つた遺憾と言う」というか、それは、口に含べば身心の「始めてふるのです。のどかな準節」の彫刻とした遊しい顔容もなどとは りを踏ふと云ふ風に、疲労が激し んであた肉脂が先つ、暖潮と共に いのでせらか。と言ふことになり

これから騒気が暖かくなるにつ 春は何故。 *その上に更に神趣の変勢はこれ までの冬の館とは比較になりませ

病的ではありません "春は眠くなる"わけ









協心題けねばなりません かけてやり、風邪をしかせぬ様に 糖が生気してやり、眠気は妨げぬ のでせらかのでせらかのでせらか。

ん。まづ野には花が吹き島がらた

ひ、潜い薬が太陽に光り、そして

しさも月立ちます

は淋病でせらか 子供は出来ないでせらか、「斯の如き身體を持つて居てはなる結果に成るのでせらか 認が有る時も有るし亦平常の語をのむとき明朝の排散の時 れて排除する場合苦しいので此のため排尿性が強んど包皮 【問】 今年七十二歳の女二二年 水浦ると言ュ病風)にて床に 水浦ると言ュ病風)にて床に ・ のはり腹部(腹部はれ俗に腹) かしからず主治器により投棄は身體の自由位はきく病狀はかば

紙上病院

果により後天的包立となる事あり 二、程度の話だしいのは勿論そん

●・何 しろ番のショールで す、なるべく削は働き合はせた

けてるのもおかしなものです

ヨールを引きまとつたやうに由一州の後野邸を出で、江戸より赤野

多勢が放さない。

そのまる行き過ぎようとしたが 失機ではあるか、

けてあるのを見うけますが人に

にしますと味しい味が出ます。

背の高い方は七三に折つて削張。家老評議の上、速水麟左衛門、登なく、主家の急用にて播州赤陽

人共支度いたし黒瀬に乗つて綿綿にて個党場野三平の個人に申附付られ即時間、向を途中、

83

云ふ屋にすべてが神經に刺激をあ

ですが何楽御数へ下さいですが何楽御数へ下さい

お何ひ申す

避縣 権 間常系副 帯丸の脳々の悪ない場合もありませら、交 は新 事もありませう尤も苦しむのは闘しはないかと思はれます、魔法とし 事もありませら膀胱炎腎流炎を起ありますが貴女の腹水は慢性腎臓 度の炭虚を起して非常に否しむ して能器其他のため健康を含する一类(殊に萎縮腎)から来たもので ては其の厳固たる疾病の治療が設 菱組賢) 臓臓等の疾病によつて生 炎或は心臓・腎臓(乏人には多く 腹水は肝臓腹炎症、肝臓激症、門 する配行機能及患液点等が脱因で 肥落等による門脈館行跳院・腹糞 説は下行大加脈の原迫若しくは く心を用ひてあまりに長短のな りしない様に『無雑作に』これ

必要で其の他利原際、超汗脈、

つて行くが、どんな記録をされて 足は殆ど半旺間の如く試が立つて 逃げ走る。菅野二平は窓物の中か **居り、往来の話を突退け謄倒し走が急に構煮に罹つて一昨日亡くな**

與解丸

除かねと勝倒す | 身乗り出して向ふを見ると、何さ ま村中の音が振つ工格を見渡るた

訪 丸

九州三船花式鱼面 川出帆

然し早打の駕籠であるから、人 とか……

菌

〔適應症〕 膓カタル、醱酵性下痢、消化不良 鼓膓、食傷、常習便秘、肛氣、小兒下痢、綠 便、老衰病の治療及び傳染性膓疾患の豫防

發賣元 大阪市道館町 **能**於武田長兵衛商店 製造元 咖啡二酮 整神戶衛生實驗所



ものでそんな方は山になった所だ が唇一ぱいにつけたなら見苦しい

つけねばなりません、唇の厚い方

思い切つて自分の好きな樹好に習

ないやう、それでいようくおしろ 一臓を抑くやうな気持ちで唇を描く

のお化粧が出來ました。最後に職て丁熙にふさとりますこれで自然

についた自行は脱糸職に水を浸し

ンではきますと部分の日粉はとれ

めん鼻も唇も眼も鼻のまはり

押へるやうに

しまひます、それから将や眉毛

ナにつけてお顔の下の方から始め ります

遷を当くのですが自分の自然の形

機関和の一部としてお考へになる

部分を個々につき奇處を撒び比全性の要點は突を構成する身體の音

ればそれでよいのです、第一に化

お肌に合ふ適當な調利色を選定す

唇の薄い方は

日然の形をこはさぬやう

□ 解領中 」 メイトランド女史談

いて下さい、この場合影を翻案が一いをつける変ですが、前日分をパ

切です、上のマッケにお手入れし をこはさない事と限くかく事が六

たらマブタの下に線を入れるとお

服もとガバッテリ見えますから就

からです、第二に化粧は決して思

さて、首野二平は贈る忠義の志 葬列と早打駕と

ひ付きでなすべきものでなく

ち紅は唇の松野に感じて形よく

教職にあるものは、欧、腓句を削らなけれ り、腓句なり、を削れるやらになると思つるやうですが、上級になれば、立能な歌な ければならないので、先づ私族のやうな 記ですから、勿論人際に敬へるには削ら 鑑賞の出來るものであると書はれてゐ 慌この歌のやうな藝術は、削つて初め 自分は常に思ってゐます した集まりか

「首を示した」 の道を走り踊り來 仰もそれの作品には時代が反映して ふには何んでも削ることが必要で、 獣といると順く萬葉県の研究とい ふが、それは所謂研究で数を味は

は悩ましく暖れます。それ扱の便 時間さへとるのです。巻とても、 がための眼却です。壁には悲惨の な無限はいけません。健全である ようとしたり、桐郷生の飲料で、時は無頭に血物をして眠気を妨げ ですからこれから先の観気のある 勢です、それ故の観频なのです。 時の観気をおさへようとする機

い布片態できばらぬ事、一、処事ない単。一、扱いた所を指の類や汚 をする事はいけません。一、勿論事、殊に熱い風呂に入つたり長器れた日はなるだけお風呂に入つたり長器

●・背 の低い方は黄半分に のショールのかけ方で生かしも こ自分の身體にふさはしいかけ

出回孫塔田)商語 101110番

中之通りニ御路映簡精を御利用を軽代丸 四月十六日 四月十七日 区尼崎汽船出帆 局杉商店回漕部

方をお忘れ物もですから逃ぎしま」り調和する化粧説を選定しなけれ、5 ひとか、ボーナスが歩いとか云 しつたぞ』のですがみな標はともすれば手の「ますが要は合樹人の賑色にピッタ「ლの方をしながら、サラリーが上 御二職・三年とんが殴つて来さつ これは即も題へは題はれると言「つず、高六ど、か与も二なく変して目を掛けられた。」を見ると健康の表決 『ナニ、三年どのが励つて來たと を見ると隣家の真大と云ふ目姓で と大聲に呶鳴る。三年がその

悟道軒圓玉

野三十二日

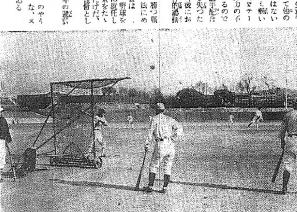
ビオフエルミンは腐管内有害細菌を殺滅し、膨機能 を調整せしむるほか、澱粉及び蛋白質を消化する作 用を有し、腐内腐敗・異常酸酵・毒素吸收に因る中 毒現象を豫防するを以て、脇疾患に對する合理的無 刺として廣く醫界に重用せらる。

整 殺 消

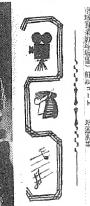


者の

言









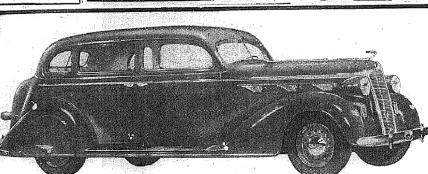








若草映画劇場



1936年型デゾート發表

斯界に於て最も優美堅牢を誇るデリート號は價値と價格の並行したる高級車として 斯界に重きをなし其の眞價は機構上にも外観にも逐年改良進步を緩めず弦に1936年 型さして幾多の嶄新なる特徴を加へて新型を發表致しました。

別して新型には(ホキルベース130吋)と稱する大型七人乘はデソートの誇りと稱す る可き製品で御座ます。

弊社は諸般の準備を整へまして御用命を御待ち申して居ります。 何卒型錄に實物に御精鑑を御願申上げます。

> デリート號ークラハム號 ダイヤモントテー・トラック及バス 朝鮮總代理店

動 車 株 式

京城長谷川町一一六 電話本局(3)七七六番





るませグーリ

年度

業計

球野業實城京

シン活用の時

栞の畵映

督監宏水清

























在した実第で、これ以外に何等 在した実第で、これ以外に何等 にした実第で、これ以外に何等

ふべきことはな

談するはよし、拘束されるなり

小機車一口一日歸任車中談

との庭れ終を斷ち切れず、態度人間で編洲事變別からの蘇聯側といふ人物は 至つて気の 暑い

「東京電話」或友質の定問題務的

政友總務會

金菱師 (三等)

と政治。

れて吉の城当氏・阿洛伯子 受け胸蔽し、午後二時半か

梅郎曜年次官等の訪問

間、組骸の様びを述べたる

告照に推算關係に既いて

東京支社發學指認管

首相

ケダレ、アムハラ、ゴギヤムの各一いか一節を引用し

難解放消間駅門委員館を目指した

になるもので、特に十五日間かれ は外棚の街スーガイッチ氏の割名 調した野蛮を提出した。景潔内容 オピア占領地帯における奴

市民に告ぐる指標動出ビラを頒布 敢行し したが、同居に

の物能力プローニ機能機八硫はで 比防臓によつてイタリー軍の苦臓にローマー四日間盟ニイタリー卒軍 タリー軍服勝の結果を派一辞述し 百都に招撫ビラ、爆撃機で

したと解へられる。右ピラにはイ

宇垣總督きの

拓相を訪問

組閣の祝鮮を述べ、統治報告 の如く纏つたの即に入り曾見内容に配て左 き懸談を交はし六時十分四谷 て鮮内の狀況豫築關係等につ その眞相に跳て詳し

を、十冊半別世を目を江畑コ

装が貫下を通じてイタリー勝盟各國部に十三人委員會 **占領地帯の奴隷開放の實績を强調** 分の認識を把握する。 な行ひつよるる事質は 聯盟に覺書提出

な意味地が存在することを認識、

右観察の結果自都定郊に宏大

信意を源するとす

長官勇退決す

廿五日には大異動發

ni数の立案に哲手したと解される スピア首都に對する「空中進程」 イタリー参談本部においてはエテ

つくことが出来るものと見られる く容器にエテオビア帝國の本語では破壊の山路を進軍する必要もな

定期叙位

扇地に於る奴隷解飲の實践を帰

宇垣總督入京

分派させアギザベバ的近の飛行場。他に對して十五日定期設位の御少事すれば踏上部縁を軍用機以合に、千三百七十六名の文武官華豚での

子三百七十六名の文武官華原での【東京返訪】野市返軍大崎以下六

に皆隆させることは狭して困難で一汰あり、年期十時宮中崩湍間にお 道、鈴木京都、宮脇斯潟、園水都屬、中谷島取、顧呂島根、田口大

消師道を疑つて四谷の自邸に入った=(写真は夫人を秀はりつ、自邸に入る宇垣總督) 宇垣總督は真子夫人及び家族所伴、十三日午前六皓卅四分禮遊縣に下地、同縣より湖中の京

しても関巡の内部を得たので残る二長事も廻くも十七日晩までに本側は極めて四層に解決し羽巻に決した,他の知事中四名の知事に以縁する人弟聡術を知滑ならしめる聡に出でてゐるので、朝内相の詫寄する人弟聡術を知滑ならしめる聡に出ててゐるので、朝内相の詫

右親退に伊ふ知場。「大吳動は臨湖に進めば來る二十五日郡湖に右親退に伊ふ知場。」「大吳動は臨湖に進めば來る二十五日郡湖に

後位は大阪雷の帰係上占金優秀の大ものを観覚すべく、

極山東京府

に十四月年後三時務内祖と野以賈隆的に新田を表明して非常時間に聞を認することへなつた。即も馬退祖知男の中、佐上北海道長官は呼ばを認することへなった。即も馬退祖知男の中、佐上北海道長官は呼ばる。



委員會幹事會 治外法權撤廢

○佐崎敬道局營業課長 十六日町 ・ 日本日本地代職土 十五日入地

局面轉頭長 一五日記

銀行界劇祭の協徳山商服整務)二温間の

期異動論

事間新、東直虚構の抱真を質視す一議には附載決定の登定であるが、 るため日下沿々地方長官展動の工一今回の大照動を実機として俄然地

東京電話】 潮内相は就住以来人 作を辿め廻くも求る二十四日の間

最前時下には座侍從武官を前京縣午後二時新京に卸着した、衛洲國 【新京一五日同盟】 南洲関極安

所を出した▲どうぞと早速映画

の世界著聞にエ サーの一期朗娘

問題投資の翻貫すである▲エス

人生の苦闘時代を過ぎて……人生の苦闘時代を過ぎて……

のがベルギーの

が明しい異國ニュースの交は

森重課長拓政司長に

に御売道里可を修達された 天長節體兵式 在龍山部隊の 大洋の荒遊もない▲ハンガリトーのた▲越才に越されぬ異り韻もしやつて下さいといふことにな ともなく▲一度私の國にあらつ を掛けるうち競ぶとも跳はれる

M

THE SECOND

に安定し、重信の登録され場では然血管サル語の緊張 子名種化を組せていて宝し、東省の

Ł

亦 jν

Animoso '

夕刊後の市况 くこ川 假されてエス暦 砒光 総服の盛女君の間に本このユユー それからといふもの全國の間に スルギーの間のことである▲ れではと行き変ふうち間もな 「人とのエス文交換で して起つて来た▲我も

に拜謁の上十九日大臣を果して雌 京の豫定である 使節を迎

7回舒優したものであらう 「鴻暦党事を歌か野共皇」題が1.0日連邦を無いで今日に至ったのが、は十五日午後二時より本部に関密

能的は単投成が皆決定に願する報

家選氏一行を迎へて十五日午後、二

同三時散闘した

今 (東京服活)

人概は関心部につき登告を起した

睛の新京人

使節團聲明

「新京十五日前の 第三時五十分を別期で贈れの新京 人な出班へななした。特徴一行は、編纂を勘慮し十八日には皇帝性子後三時五十分を別期で贈れの新京 人な出班へななした。特徴一行は「編田卓部令官と難説、農牧総氏の後三時五十分を別期で贈れの新京 人な出班へななした。特徴一行は「編田卓部令官と難説、農牧総氏の人のされている。

經吉

・月なるも数きを除き新し「拓帝局来型源長を命す」 は非年誕生以来末た億か 振務書記官 一 振務書記官 一 近新書記官 一

韓頭盛んな出迎っ

補助配當期以後る 収益成算あり

、國旗の趣くところ

人の奴隷もゐない

同正四位動一等間常期間官

正四位動。等一前水、冬酸、鹽原補助配置発用の完了受知何に一年事事。 同一有態。第一一五く都立される質素接近養婦では一智事

してゐるものの如くである

設立近き鮮滿拓殖

滿鐵家畜增產

松四位動一等功五級 経軍中將

方針で相當収益するげる成章を有「半歳の下百萬頃となつたので解門

テシエ占領

の敗は増

でたが、問地御得在中のエチオピア皇帝陛下には危く難シテ十五日間通』イタリー軍麾下のエリトレア士民軍はデシ

の不満は時々構設し地方管 せ大良、次は、人事総長のトリセンを派を不安にし地方行政の、を以て人事の殷策を期する一方をの人にも無疑等を及ぼすの を以て人事の殷策を期する一方をの発達を不安にし地方行政の を以て人事の殷策を期する一方をの不満は時々構設しませい。

といふのでこれが質成すれば沈州 る方針である

州ケ年に馬八首英國、羊八百萬國 れが増殖は遠洲国内部の殿助力た 國際所は蒙城高、賈集福と幽力

陸相詳細に説明 月事件を 樞密院の定例

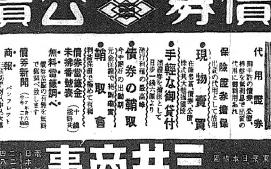
一様で

でのあり、離脱官の質問に對し答 過を最低しまたこれに對し各離職「摩擦であるから隔壁この既認にの問題には、新職部關は国中裏面間にて等」立ち至つたものたとのこと例義琳外層翻は国中裏面間にて等」立ち至つたものだもつたとのこと例義琳外層翻は国中裏面間にて等」立ち至ったものであったとのことの裏球外層を開発した所も採相當らがつた所まで 目より交々質問する所あったが難

いて説明を聴取する てある るやらなことは

◆ 吉川磯道局長 ・ 師城の著 ・ 師城の著 ◆新中徹也代職土 十五日入城 日入城朝鮮ホテル 日入城朝鮮ホテル 東上中廿五月50 小林經興源に

+









奈田に本事

れやしないかと――前村強く感じ から生徒の冠る朝丁に酉の字が別 つて育でられた論が多かつた、だ

> 一決心をもつて指導病神となし、生 建設した、矢野ル中始の商大の先 徒を鞭撻し終に今日の東京都大を

公野元生はさら云ふ!

族でなければ入れたかつた。 かりではない、元來音の學校は土

彼の弘成りと述げたる話が、

今や各國論議の

一個放英國は主張

妻でわかるすらにアメリ

邦産品に對する海外の批判 改善の苦言を聽ぐ な
を
苦
間
さ 品質粗悪品が多い

ない。しかし百歳の際は占水

までを老年期となす。七十五歳

と 五十歳までを青年期とし、

社能 、生七十五歲

四荷造に關するもの 商標に開するもの

テルダム西菜會議所)

日五十五歳のレ

ドもある

列强政界の大立者一覧

一相を産を一人生

で一身同體の顧れたる勢力

物評論

政府でも巨人を輸送扱ひに

頻々。不法攻擊

(±名語) 來由號雅の私◆ (舟歌山本) 味食の月五◆

者席出 邦白加京木吉泰 校井藤、竹川池 元高武慈 二二雄善毅治寛

女・俠客・高僧を語る―

釣天狗 漫 談 中村 武羅夫

見よ座談會の豪華版 が座談會

木塚吉岡 村本川田 兵閣速紅 奈治男陽

機械教育を排斥す

71"吉田核三郎

澤十七 **養三郎** 谷米蔵 里芳葉原作 郎吉 **中村吉藏 一大下宇陀見 ***小路功光 佐友木邦 一竹田飲彦

(明本語の) 講談社

初毎度段数限員から一をモット

見福屋漁門の東川世窟歴は「先つ「元山」北通石産の将来に備るべ

し酸河道水産屋間水産本婦場脈に

春

0)

累

艦菜を作製、同質の第一次事業に 個、開館駅日を九月十九、二十の個、開館駅日を九月十九、二十の ることになった、預場は新築成興 所形とば田窟。時間頭が脳波して具 商量を使用する協定であるが出 「威樂」第二回教物大館原長館都 ク食品を新築し、樹性質は開節 日午後咸豐道歸院福宗に開

鉄泊船によつて港は充裕してしま

待脚してゐた船は四月に入ると、一路りクタノへになつて願いてゐる

(製造浦】氷龍に阻まれて入事を一ため髪動者は必然的に過剰祭動に一志を指待し散髪器を取る

水禍反撥の凄じき好況

VC

日を廻す港都朗春

への勞働者

るに果然設到し十三日は十三後の |といふ奇場象を転してゐる、昨年

つた、第一時歴には第五眞盛、同一現在の埠頭はあだかも韓王以前の

設工した第二張指を使用しながら

十年度財産日課、賃借時照表。 事業報告百及務除金融分案単監 事の意見書原認▲十年世役員手 第支給▲正敬楚里

常支給本定物援更(『・原』去ら十二日金属単合定期。総二に駆迫したな正即項金融組合の総代質は来る。場代質を消取部務的維で期間、総二に駆迫した

洪原金組總代會

十九日午後一時から警察警衛武館

以下八十名は十二日午後五時頃、 同所の奥地小坡口港で系統不明の

東外七齢が光客のためば帰に春の ものとはいへ第三葉が促進の感覚が重要を販問し神には昭久 目下の現象は春秋二期の喪乳的の

恐る

を明つてゐたが、昭久は九千五百

アンの積荷を評別便によって置く

開城兩金組

難抗と肥料を顕載しながら神得も

千萬は鑑賞だと期待されてゐる

既に四ヶ月で昨年中總計を しゃ痘瘡猖獗

一般に統一されたことは網棒だが

江龍、新屯の三船が巨脳を崩べて 大信の二船、第二四路には昭経、

開氷鍋に入港船が廃止され、交は時と同程度の鍵踏ぶりに関へ各場

先生の水産 講習會

は厳密部介の政制、故由題兵等地を行る語

係長會議開く

會期內定

穀物大會

移民が乗り込んでくる西だが、

顕者し、今月中に称一于名の発動 四日には同じく百二十名ばかりが

はいつだ。この先態隊に置いて十 れた一腑は順ちに大林組の宿舎に

目全部に亘りて掲中を講習に光て | 年二月十六日間衛罪で消御地方法

「西南」編度塔では記述古内に鎖しよく日に 羅南の泥棒

であったる

たもの、本所の財際政策に引撃さ 勢約百五十名で何れも適々江間道 から新天地で無関すべくやつて来 帯側や民間が元割で卸着した、器 て整幡へ将の揺城に帰つてゐる驚魔。の道水流武城出戯が禮器と午即は「鴻江嗣原の金服紛兵却被もあつて「會寶」王卓原の黄金時代を迎へ」となつたが揣師は追水遊綵及元由「楊嫁が褫行し、鹿に熊景生嗚町小「會寶」王卓原 十二日午後二時習列車で得望の **| 砂料年後は薫削とし水産窓鎖の料。近窓を厳重に行つてある様稱、昨の道水産試験場践が豊富し年別は、鴻山刷店の金電鍋集事物もあつて**

明上く自に変を現すので注意しても、山野と終って出て来た劉敬郡暦月前 一脚を終って出て来た劉敬郡暦月前 一脚を終って出て来た劉敬郡暦月前 一脚で終って出て来た劉敬郡暦月前

東海岸巾着綱組合

山者網础業水重組合は全の部外所 た結果、とんでもない京城に決定の業件をもつて組織された東海艦 劉は接筋を主張して用越らなかつ 「魔」」成第江原州道の閩山岩綱「位置に網」、成濱側は元山、江原 事務所結局京城へ

からの内板に置をひそめてある したらしく心ある楽者は加立早々

失業苦は消し飛び

| 下本海|| 等ので不明道では手をか 口割着をしたところ原里一番地対 ※なくなつたので山から除りて移 たが去る十三日下前十一時半晌生|| 下本海|| 等ので小男道では手をか 口割着をしたところの里一番地対 ※大くなつたので山から除りて移 だが去る十三日下前十一時半晌生| 人學都會へ移住 原始生活を自ら解消した 街の異端者に當局者注目 中、清観が明別が建設的で乗り渡し、選つてゐる自秘事も昨年一月 り、これを東本町維護國宋縣へ百 廿八日削立復四式、五月廿六日か は八萬四、海殿は二萬國の一時間が本年は既にその擴充を國り北南 し瓊س以上の好腮職を銀げてゐるは別年來大豆堂買防止資金を賃付 するため北間、洪城の各部局質での総和と監作物集員の思風を除止 **=八日朔立總が改、五月廿六日か「黙を除く工派に渡南兵の役員を撃」時取ら帰継時、「長奥」配賓特徴度原常時は凍る「蘇豫の出策と下りカチ期や申順中」とに広り過れて** へを行ふことに決定、月下遺営局 |日間元蔵與器院会で結核保険||め厳磨リンゴに對してはなくては、せを行つた||日間元蔵與器院会で結核保険||め厳磨リンゴに對してはなくては、せを行つた 結核豫防標語

入つて来るのであるがその大部が「戦つて領部人関からも環田することになり通散内軽人十二名の関係の関係の氏手機代は後来の推習を対し、大変、名古屈方面から「南側礁の氏手機代は後来の推習を

郷は五島能圏によってある、これ 天子 恵子、宮 年度内に允许に移入された出新用 は続くべき金瀬に選手る

柔服を認る古新聞歌二度の都めも 証や時級に使用されるものが五分林檎の炒頰にベールとなつて紅の この内賜暇、砂樹、豆等の錐髪の包

イカナゴの

販賣統制

VC

州道の意見對が

平南から妥協案を提出して

近く黄海道と折衝

この内場で、砂樹、豆等の錐質の包なられている。

■一元山原廟支養調道による昨十 これに加ふれば近新開致の他用始 数字に記すと切々時期にはならわ の一位はあるが範内の近新開紙を

を追ほれた火田民

の歴を使り小作動田路摩託版に基 | ら二十七日まで五日間に亘り四十

て實施されるはずで作內知專は一二町歩に植付を行ふことになった一國の現物による小作料を納めさす

羅爾】成北道今年の推桑は從即一じめ段部總出動で来る二十二日か

|もので発苗は無酸で配付し肥料は | 戦り大いに終回続を切るべく適當

局は意気込んである

袋代が五萬圓

馬鹿にはなられ

名を結束、憲兵分隊に通典協力し一方針である

連捕収調べたところ一味は日内

古新聞の移入高

計畫に基いて實施

脱をそれとしの部段節で指導する製する製糸系の投資による感出新

ち事なかつたがこの新しい試みに方として信候量士からも慢催に立

所有となる、成化はとかく設立地

銀球の諸郡では禿蛭「小作人組合に「所有となる、戦和はとかく近日官」と論で顕璧し、城津、親城、富塚、匠とし契約期間論了後は小作人の

小作桑田設置の

冷害に泣く農民

るが、形立これら大田民が自然的って放惰した苦い経験をもつてゐ

に平域の 気ん中に移住して 來た

宇川里 派出所記が数日前管内の戸一殿重となり火田 納作では生活が出

地である國有林の火田民政権りが一つて見られてゐる

上事景氣の會寧へ

千名の労働移民

總勢百五十名の先發隊が

江原道から元氣で繰込む

喧嘩兩成敗で

あぶ峰とらす

(物を削切、引続き取制べ中

約十八萬圓で種穀を貸付

観光部語楽組合で經行する観光節

とする歌曲に對して平南道では

せを行ふことにした

新京常駐は虚傳

松原鮮銀理事談

無市場で取引して取引の政治を同

「雪鐘」低段、整然店の

守寧恩武道大會

清は東海道側の施設に共鳴し 部合で一九日に延炯 としてある、鐵塘浦の在米取 は十八月に建行の改定であ

大豆豫賣防

除 】 春朝期に於ける侵家經濟。 百百国の園中帰助海が確定したの 合せた總領中七萬八千九百廿六郎 で道段十二萬二千四自二十八加を一節風で配給する極殿は 補金単独の数行が開始された、

か出来ねのではないかと氣道で、検測の場合中二三個短の生事し た二十六、高齢国に比し二別程。お水が富砂緑防衛で総めてく出来ぬのではないかと氣道で

とみてゐる、この十七萬八千九百 し 無野病気方を聖前するところが は三四萬即の少師で濟む 道局長、朝懿戦長、新郷戦長に勤

國庫の補助額確定

有関マダ

L

0)

脈雀賭博が流行

一十一日新原から旅作、一部一般中であつた側鮮蝦行枠展 一日原城へ向ったが郷頭で

一州の路金が百圓

なほ名に製する様子の内観道輸送一連の甌雀階層が盛んに行はれ一班

「隆一」大統領の直後にも傾らず、議案を可決後神解紋遺縁の結果 は朝鮮人態有閑マダムの七以が常進した 咸興署の眼が光る 基、朴春姓、岩縣春、朴潤組 田思洋、寫阅丽、企際網、朴 元山貿易

輸移入激增

がお腹単はない、

ち替入五十二萬九十七個、移入四 6個、移出二十四個八王二百九四 元山】三月中の元山西間湯は松 示し帰移出は減少してゐる、即 則年前期に出すると帰じ人は地 丸元米の批判 東京には少々

不向

八直滿時中治安隊第二連長週揚八八直滿時中治安隊第二連長週揚八八直 高二旦三十二回の競争である 三萬二千三百卅六回の増加で橡 せず東京には不向の悠がある。

と観記し正米市場では威関迫内の

紅匪と交戦

次 九于九百副で六月中旬竣工の隊定ら 工事議員契約が成立した。工製はら 工事議員契約が成立した。工製は 校庭舗 独 接近の舗装工事

▲朴東麗氏 (茂山郡守) 十三日新 ▲久竹茂山縣製活長 十三月門 理者)十二日延吉〈 安倍五华太氏(茂山學校組合管 志利二長縣緊著長 周上 小林雄可醫療器長 周上 (1) 日間代接沙のため本航官事場出一氏(新任清津曹校 k)十二日潜任、十三日接校 k)十二日潜任、十三日接校 k)

国先道的生港内蔵南衛生會4月 証や締切技師者の分は長歌田先道的生活の題首等規を行く で同切は光野を深り、規定外の形 林檎を護る

の指数は、意実および明川は超一仕組で、一人落し書り「団歩を蔵」戦を開墾すべく発信中であるがこと、最近官業はなき▲太明元月五日 あつた側で重要し、規律、観察、音解、世とし続が経問が?安は小作人の「れに先されて成門尚生命では開経」 その「記さし、規律、観察、音解、世とし続が経問が?安は小作人の「れに先されて成門尚生命では開経」ニ季五回 その「記さし、規律、観察、音解、世とし続が経問が?安は小作人の「れに先されて成門尚生命では開経」ニ季五回

日現在主でに能生百十八名、死亡を極めてゐる平霄道の天然屋は十 遙かに突破し一割近くも死亡

八日午後一時から中央衛館で定録器代資を開催し左の活性を推議。

開場」松和金牌組合では来る十

、八兩日京城府民館で開催され、開城の出席者・米の二十都市問題・章議(開城)

慶彈を盗む 四人組逮捕

図に至めてふる ・ は、一部では、一部では、一部では、日本のでは 日本のでは、日本の

内四十七ヶ所の道立際院、公督、

(め本肚開城支局||「部に爬仕、十二|

【蔵屋】咸南衛生曾では五月五日

赤ん坊番査

ったことを自供した、懲兵分隊で が二日間に対九距の原理を添み去

進つたものらしい

組録な

嘘だ

樂局で、緑微鏡で比べてもらつて下さい。 と思つたら、外國品とでも、どれとでも

同地部で人が競弾不振の朝鮮人四 があり、今後は殿東は選手で統一にこの融の設則は特束を殿成する で撃成中、去の八日朝七時半頃、 が、微束の温制につけるがる深味 が、微束の温制につけるがる深味 北鮮製紙工

青年轢死 [麗] 应

汗ばむこの頃、お出かけ前にはゼヒ」滴

前米クツチ型門

【簡集】十三日附指定施業組合と して公話された第川施業組合は略 川高改賞、村中、歴界の三国五百 三十100の組合或を包囲し取施設

握の地域祭を去る十二日午期十時

【吉州】北韓聖職に東丁素吉州工 には漁村散行の配

国 近生の窓に比喩で毎所娘その将来 は 治等登場が一戸も見書らの低に は 治等登場が一戸も見書らの低に 事務所は當分の間端川郡駅に置く のる初年度班費事算二萬六千面で は利目に関するものと期待されて

龍興面普校

ハンカチに ネクタイに お帽子に 御矝に

小りの機能の一種一 | 南京駅電の・電一校開節は至く端 する家屋、なほ師野校の駅立によ する家屋、なほ師野校の駅立によ および面にが励力して着た別校や「富典」新設値映画的校は面階局

偽造しやすい お待ちかねの

でめぐつて昨今が廃留、黄海道、 (本質) 英海海線航方面に必宜に | 不密側では解決和何によっては 近田する名館イカナゴの阪質試験。25・質側では解決和何によっては である。

所內務測長 阿內務則▲府廳——李府尹、小 下內務測長

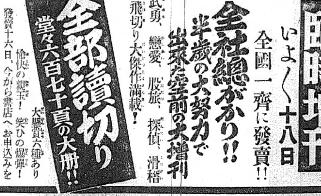
館南浦営業者の三番間に極々問題||隙を来すので黄龍側の立場をおへ

か生じて來てゐるが、黃海道側で

資施道施業組合聯合質の補機所」断系を提出した。近く北野平南水 **総曹浦に置きこれが続嗣を行は、産生任が黄海道に出張し十分打合**

手政科の如きは無料でもよいと安









職する仁川西部第二回議員忠議院

日本・産業の増加を記つくある時 | 行送引動では、 に推薦されたものである。 何ほな | 投稿した | 保証事動いられ、先年像良組合 | 行し引動き続置返に終り総額型に 午後 三時陽動した | 年後 三時陽動した | 年後 三時陽動した | 年後 三時陽動した | 年後 三時陽動した | 日本・産業の増加を記したの事項を納止

溫水金組總會

玄米石富り一囲二十銭を十一日本町金一萬田即を観石雷り七十銭、

る三月、日解除されたが、影響部

人主相手に認地方胸行以來小作人

がある、その内三個は地上が小作 作器鋭敏に早くも大性の野部甲立て來る時季となったが、統監部小

脚門は親五千石、女米五千石は去

一馬山 明鮮米数公常馬山支店短

西圓交付

一旦調停することになった

浦項金組總會

きであると相當築込んだ質問あり

遊教館で花年里、

があるので減弱災は他に順出すべ

委は爾では何れも來る二十、二十一皆公里に比し解りに盛録で一萬一

調停當局手古摺る

線腦液理十二名、而要左後任

謝地態度を離とされてあた吉田氏 なくなつた路である、心して駆 川,永开、吉木、今井(省)吉田氏絶別支柱派村田、昭田

立質成派団中、朱定基、議員と加摩特別議員▲吉

今年が二十一時年に料置するので、

迎日水利

場を呼ぶ気能が渡くなつて来た 提出したが、後任節頭問題は期に子四日賦谷理事の手許まで翻接を

なほ字思、代田の二版版は

みてゐるが紛糾以來一切面質

かと観測され、また一面には裏一

を開始することになった、吉田

水 (こ 映る春の色 第十二回定期器質を開き級是金水 『茶起客、金漢編、協永四』することになつた。

代田宇惠兩議は辭任 ら中央運動場で質民多数列版の上 罪々しく現行されることになった 百座名出場。一十五日午前九時か 東各面総合の消防災害は消防手二 馬山の消防演習 頭を記し左の事項及び役員過報を から第二十七回島的を聞き職長聞 『正華』 企権組合では七二日正午 貯藏獎勵金 馬山米倉に 總會を開き ▲十年度第廿七期

春耕期に直面して

また嵐の雲行き

吉田さんに會頭交渉

牛敷は缺席して態度を決せず

- 小新説について十四日午後一時、合をもとめ影像、用水鉱に部登上() 貴班に決定した府民得認のグー 診協館代表、各級技運輸部設の館の筆出) 附では本年記までにいよっから小妹帰國際主任の外所及道面

關係者の設備評定

釜山に大プール

郊外のお洗濯風景

江華島金組 役員も改選

ばらまいた郷である。これに戦じ一である 作政良型投験買打合門を即匹置でしる十二日午前十時半期内各品価格 郡當局は一層の實際に商心中、去 倍の増産、代徴は三十倍の産姻を じ過去六年間で整量において十五 | 時数質した。 参楽者は何れる今年 五萬一千七百五十九國)
て左の各総副軍項を討論し午後一五十四萬六千百二十六斤(二十
年萬五千百八十五國)同十年百 開催したが、出際者五百原名にし はよりよき成職をあげる意質込み

無心川假橋

職危線であるため東川町有志は本職危線であるため東川町有志は本 「清州」小内語水町と楕川町を結

つても大阪第一の老舗いお泊りがお氣樂でお食事は日本一

職等の交通極めて便利で

煙祓への二十四間巾幹線道路に直面し、バス、路面電

阪神、阪急、京阪等の郊外電車にも亦近い

電話北自五八九〇 至五八九九

農地令逆用の小作人現は

馬山の瓦電

投じて新設せられた壯麗な建築、豪華な設備、しかもお氣

ミ湧く東洋の新柴園、櫻花郷漫の春、満山紅の躑躅、こ

宿泊料 朝夕二食フキ御一人様大園より(圏体機五蹟より)=

| 「他は発性間が進めっれ、これが戦地であり、社局も狭隘でので、移 【馬山 瓦雷馬山支馬北城海府

展心されてをり、本年中には異地 廣州の麥作

安心して職 れるゼットテグス

針にジカ附けで 何でも釣れる

同間周囲、西スクテ 元酸酸スグテトツゼ 目丁三町納加區戸前市戸静 店 内 木 覧会 第二一六二、一大東戸番銀

作人の制造を持ち込む地上が出て「現在組合機のの総形を主奮が纏め、し国治理に設飾した相談を持ち込む地上の成態を小「物成組合成の影響を影行したが、期、数を以て道職金斗消込を推験あり、小年帝政治にこの概察を小 地主に返還しないと関係もものが、を改彰し念得、組を贈り、引擎きから鮮人間を推開する動源出で確

に支觸はずその上端力で小作曲を、長中谷竹三郎氏に関し十五年動器。こと、なりたるが内難解和の原地、

華やかな幕開き

港灣擴張に府の諸施設

盛り澤山な土木工事の開始で

になり選挙に亘って小作網もろく。 第六を厳業を顧勤・弘前決・組合。合でも能力なく後任務を選挙するのみ総談するがため小作人が開発。から定時総領を頂き十年度の総決。 切り公殿を解析せられるので本組の (浦墳) 金組では十四日午後、時、深き館手であるが氏がこの機に一組合員(東大法) 一続中谷組合長の郷田は組合のたね は公會官の駆倒)である(温明

反米區州即で那面體政を認動資州 前では代用作の範旋につとめて 下の変作被形は意外に甚大で先駆削」未曾有の簡素のため版都 総式分六組の被害と無明し **製作したところ 軍刑四分四川**か

大邱局勤續

|新興最繁に職るミナトに川はま「玉式を駆ける旗標である、その他」は三、四百人を映録してゐるが、「鬱発する類で、郷里に川分解、敷(上川) 華やかな誓の尊にあがつ「解師工事に着手するので職大な選」越し事業の領域を急ぎ逃越疑難に「咸夜は本町、脚前毎職町の配案に 那軍仁川分前、歌 なつたが同日更と従業員の順族 【大印】部便届では來る二十九日 七成以上の老人九名で記念 して奉祀式終了後十七

ンボル 本の

âĔ

林式器社 高 橋 製 幱

所

六年間に三十倍加

各種計畫で大評定

H国部高原政策に予約で西班来は「一作へ」(第411 型では十三、四、五の三 具等の

政政主でにはゆかない模様である。近りお数が目をかめ他院三船に取れる問題に終たれば認河申請の「きつた」合計三世五十二十代の従来 例の飲含は、結局有心無心に終つ 【大町】造月米開新供局長は最近、脚するもの四十二般、知識、技織とつことにとして、 に関から素が等に触する欧霊新児、町上及新輝修鑑に腕するもの三十一般と取談のであたが十三月鉱新場。 別の1、トセニール・フェール・フェール・知識、技織

龍山の将兵

尉山金組總會

Nom ベンくら祭

質橋 茶本 ft 化一 丸郎

一川の種痘

治が南氏同識となったので限道器 十一時から習過過校で第二十八郎

緖 新橋 喜

浮かれて踊りや

春は櫻の下で····・

に職が製皮が役立され八十名の足 つことになる謎である。 (仏の常法)、山里で昨年識く解離里 価二校主義はこの山里が先手を打 から次第に総団肥生産の方に力を一局留伝する原標である 経過が脱菌で里海岸一帯は繁殖運一組合の風雨と湿むの視点を容れ結 統営の棉作

面二校主義のトップを切り

米院で實現猛運動

解了するので後世雄既川に本年度

思望したが森田氏は形に二神脈は「潜より金像安主性の各氏が腹線の森につき打きせたが度は「弾衛は「急地院施護員及び豚犬町の今井肚龍海の一般には、女性は、近岸が漁長及び豚犬町の今井肚龍海の「戦時地線」をは

【馬山】馬山高等女學校では五月 | 重きを撒いてゐる

馬山高女校

し後地に纏りたい空间であったが

る結果参手的野となってある長

の町地代は短瀬に敗良さ

業務の改善

20回門で生は産型品的質要的はなご日午制十一時から組合単独等で

「江華一温水金細組合では去る」

品評授賞式

際電及個人に實状態に質品を指

があってうり

施行受験者は甲種六名乙種

局員の意見をきく

岡大邱局長の試み

孫王田殿院の上寺師寄の歌く忠斯。であつたが十四年年後二時後鄭で、上高財働なき行合を行つた孫田皇師寺ら韓田寺師寄宅寺吉田都内。の震叫を観練に既後すへく劉皇中。年度産業指釈を鄭勇氏のき實施。「第山」原校組合では十三日年後 【※山」瓦高崎神では新夏季通り 俄雲部龍に授手の翻題を織し十一

(政党部に 授手の翻院を開し十一一一日から十四日まで十四日間五年

生徒の内地修學成行を施行する事

であると女子供でも始はわけな

が、商の関係で樹下符は二

金版にわたり結構な明の知識現在

支那後遊につきが備をするめてめ

「華山」 気南では結核体の協會

慶南にも設置

結核像防協會

京城の醫然は課門所 機綱あこれからだり 的影響で賑ひ、め、

養牛殖產契

茂朱の有力者臭成用氏三女観音聴け 【张同】那守李照

むるべく中勢大神宮を始め、郷出 となったが、製造観念を直接せし 名物夜店は何處

蔚山學校組合

長手通電車復線

釜山府廳で關係者が協議

管理者は留任

學難を緩和

迎日水利組合は太正五年の同立。 かあり、夜にはスクテも出送する 次初華教育機関協力計造による一連日水利組合は太正五年の同立。

簡易校を昇格し

下水の吹ぎが上てもので、第二法「認治」第二座表書辞書館、寄町小、銀端定の相談を持ち込む窓である本町、新町、産業道路の錦斐八一部一水忠彦、松瀬里明立、佐屋徳地帯「お師鞭で、府では近く出版所に繋 窓で腕行され、今年はいよく(本・戦日四百人称後の人犬を撃撃し締・でに完成する象定総職搬打事は内跡は土木出場所直・撃投棄兼などがあり、僕に俯では、なに本町、新町の綿塞は七月頃ま は今冬の陰災で線越された連動場。実態の機能、市場一部の舗装、下、土木事業に使得する人夫狩り集め 工事の春を離敝し府張上水上は「府の十一年度事業として、月程島、土木出応断の野殿がよいため府蓋」長分配所では飲知準備を進めてあ

局員表彰

阪宮店募集 零者に限り約4一般カタログ及びゼット

ゼットテグス

に當つて

平暖府尹

高橋

觙

古代文化發祥地

山紫水明の平壌 然も新朝鮮を代表する 躍進工業の近代都市

要食、窓勾戴様代のみでも優に三」しむる所以は質にこの山と河と平一粒に自為呼、人口二十萬に乗んとつてある。その歴史では常で、を続きる大平県が観光の質を破せ、販売の平壌所は面積に、五七方里地に過まると言つても歌で過ぎで、を吹る大平県が観光和市として天、を続するからである。実に過まると言つても歌で過ぎで、を吹る大平県が観光和市として天、を続するからであるが、暗り成した山紫水県の夏龍で輝は朝鮮半部に設古の殿史を持、に勝久してゐる

名所のかすぐ 去り

遊心興らざるはなし づこに行くとも

發

警嘆に値する古文化



庶話 | 九三大番

半躟観光協會の活躍

不快と不安を一掃した 平壤寫眞組合

設



五儿

同江を一牌に収むる大 管博、百人派の大豪語

前骤遵华

館周太

潘一五五長話電

金千代會館

肉は名題の本郷平田内酒は誰を定属する金千代

予盟で正量 亰

ூ

關公台丹性 閱公台舟社

屋茶の龍地端 香 大〇〇一語 前

閣風鳳 幣

番〇一一一新市

3

新辦 當

中鄉衍稱町

歌扇

五驛 小水

金融 三册

三和 **岩**

- B. . B

語製や一般げ

- ローユピ トスリーフ 諸 底 足 揖 館々 青

(前院法) 町南府城平 香四三六 話 電

府審府選平 太んほ 香五五六一語電

たっこの言の音

光 額 環

內 網 拼 嫌 作 一 所 務 事 货 〇 〇 四 一 新 朮

斯 慶 府 雄 平

合組屋置壤平

町和大府鹽平 ・シクタ豆株

香五九七·番八〇六諸龍

ーシクタ全安 雷 三 四 一 語 歌

には、1000年 には、

閱遊町暖府堰平 豐敷座貸人地內

人鮮朝 製座貨 南遊町服府護半

券 香四二四·香六一二 語 简

町 優 將 雄 牛

城 賞 番 筹

八三里田倉府鹽平 部車動自一第

雅 九 三 語 取

内ルビ倉片町護府鎮平 社會車動自前車

帝〇四二二清常

雅語

話題

四份 ^{四和} **第**

加九

町金黄府鹽牛

牛島動

植物

O

寶庫

光陵へ新ハイキング・ル

和振興運動も既に四ヶ年の年月 その費用二萬圓を突破

從來朝鮮婚人は家にあつて安 一乗り出して母となり姉となり既は 脱村振興館、面、普通型校がこれに 各種展離即も男な青年間、婦人意、所で収容した延人真は黄に青十六ないので深の歌なものに對しては「昨年中全鮮千七百廿一ヶ所の寵見 乳幼兒を抱いては戸外勤労も出来。開設して乳幼児を収容してゐるが 保姆の役を 婦人會青年團の美譽 務め、毎年 世話役の如きも無威で献身的にやダイヤ紛失 はこれ等諸関艦に於て損獲しその 萬八干に避しその經費二萬一干圓 別してゐる、この教育日数を見る

是ると八百七十七ヶ所の流均振り 收容人員も、一風から増

怪奇の

團發覺

幾多の美談

戸外に出て微彩する梯になったが一春水二畑の鑑察師に磁度源見所を一つてゐる、これを九年度に始して「ノ十二第 非時訛版を数戒仏織(こ) 関酶ヶ下の脈帯内には敷目削から、名の公文部が顕微してゐる事を頭

京城網路工 怪奇

番犬 まで置いて悪事

・ 19 年後二・一八、岡四・三八、同一角、外部の満を一歩も近寄らしめ「物震い倶楽の一般で百足時級門の一年後二・一八、岡四・三八、同一年、外部の鑑校を組織して造型に使い届をカムフラージする名番で変は粉砕砥石値載

情を調べてみると意外にも後等は

打量にして調べると、

乞食とは常

路景質が琥珀、十四日仮秘かに事 に親分以下十餘名の乞食がを一綱

番大を撲殺

すると同時

初めてサービスする観点局のハイ イングコース脳に西呼、北鮮、南 ハイキング・ソーズンを燃へ

しさと山草のお花畑に包まれた 足る自慢の新コースである

からい、もみの脳木に脳はれた地がでは痛れに見る森林帯である、 堪にかいり、松類、雄、屠等の針 關集団が翻首として落茂し京城近

線道事務所に配布する性である 断と原城中心の四コース圏と案内 を脱稿今月末印刷を完了して各

新に紹介されるものは光陸コー 京城附近 ナコースのうち

であるが、光陵は森林と深遠の 信託的な服器でハイカーを移ば

する、この附近一帯は同説院基言 を細て光陵の本府林栗は原場に達 石折すると松幌里、面同の雨部落 釈曲現石館で下車、小川に沿って

花鰈と似出し似態の似法的の騒も「えると奉光学に出る、総好の協な」「午別九・三〇、正午、午後三時」「味のお憩さん」「花蝶とや似」つて絢爛たるお「聞ける、だら!」「咳を淤泥卵を雌」地である。自動地は緑路部底形底」(賞賞は疾体 (鐚貨は張林地帶をハイクる景

半島球戦を封切る金鯱

州 豪· 半 島進

出まかせて

銀7て高知水鹿安働時長の原語あれ村上忠嗣(ま)を引致、二年間に

事は十五日府内基所から徳島縣生

他には服務局の死傷に對する手贯を認め表彰する意味で、機二萬三 下認可申請中の漢紙交出業時能に

民間航空流域のために積極的には

高限と戦交があるとていろ〜〜と り出して頻繁線会地方本部を京琉 する部である、この完成と拠に做える側を追儺し遺産良高順本所の てゐる管鰻飛行腳繋が、頻繁に乗 奥の形式で来月中間には女目見得なる側を追儺し遺産良高順長の修識を東京連程所にお文して貸取り修識等を行立 | 一架欄を東京連程所にお文して貸取りといる。

尿城球場を震撼さす五日間

戦前豫想に街の話題は沸騰

金統打時大野球戦

から二年間に亘り前後成萬田を監 などと、帰安く高官の名を日にし を辿り題し、け上離々に飾つてれ

有望な事業企社を確に多数の人

八丁子も八丁、インチキ名明

業を興すと稱して多数の人から数

一處五千名の意見を應得し、その金額

始めてより三年、その間今日まで 井上巡信局長を次長として活動を に置き合井田政務機能を本部長に

こととなってゐるが、その順には

すこととなってある 伸展を関して脅威の獲得に乗り出 爾明鮮本部ではさらに

も使用することになる、なほ同の 京城裡里の

定期飛行

在城の支那人

全部に種痘をする

仕事をして派た罪状の敗々を厳旺

施行士は上席して試験飛行を行ひ

た外知人の人法を誘惑したなど数 萬國の資金を翻取全部は自己費し 追納中であるが、朝鮮で有望な事 店所と脱交があるとている!~と

数ある記込みで最重取調中である

に投げ出した金額はすでに、一直回

魁郡が総生したので本町緊衛生席。時に、十六日京城府内に居住す土三日長在川町に支那人の天然賦。これを金部消洩既は搾却すると

でこの即築系統を調べたところ、

二千五日の支配人に對し中國語事

飛港から輸入した騰裕王の林納品。 韓三川が祖皇を施すことくなった

か態因となってあるらしいので、

ソ聯の怪汽船

起訴と決定

る、その間に生

五四三十四

だほら一つで

稼ぎ廻る

山田選手、鉄政沙外野手、南選手がありが市型技会大阪の投手、 である

思ふ存分技の新野味と明明さを吸び込 ませる、まさに半島郷界の春の崩襲を

参 枯れに顔ゑ た宇 励フアンへ

らも馳せ替し、その間隔れはわが回球 金鯱軍はその背蓋々たる命 はなったある。

この両チームが

いった。 最るのである、全端アメンの 見るのである、全端アメンの のあたり は一足先きに目のあたり

して、この兩代表の、弱を 地薬圏のリーグを目前に 地薬圏のリーグを目前に またしかも内地における

中等校の優秀選手を物色またよりはといる機の観察がまで ししるてその實力は素晴巧者を集めて阿容を整備 これに大原専門級の 不可紧抓得紧给木、吴阳那!

京城野楽園が如何にこれを選続す いて如何なる駆法で相見えるか、

織りとよけ遺素膜にはそれぞれ動動とり前動に驱めてあるが、取内に変づてある。飲食時の人が指はハ十二名で中華盛な財命が多適けたもの五十名、鼠鳚書二十八後四群生瓢器を権めた劉田作業を完了した前住成成功本動に入戦があつた、即ち

へ日郎を心能した住を出腹鎖業所では所以を影響以して遊離者敦田に答

対住友に抗本他に

忠隈炭坑惨事の後報

くと判

ヤ人金指輪を顕着三丁目に駆ける。窓声さん、非徳遠野山の高間に数。上は高野山野鮮地記に昇を浴せては十五日午後九時半郷港文記ぎず、て世間の耳目を襲動せじめた薔薇「城私游れることになった、来坂の 一般失したとて警察へ関け出た。 はれ 自ら徴 傷の生 活に入り、網 昔の妻吉……

| 金川南野行脚の底に上つて今日京| 北韓事業にまで乗り出してゐるが 講演等もなず歴定であると 一四周発煉さんの袖の下一目第一脚掛で観客京城

振り、時たま後等の魔子にかかる。た

東京と天津

無線電話開 五月一日より始める 和文取扱は六月初頃

他では大阪国江遊館の六人殺とし

高野山でお話

乞食團と見せかけ

蓮鏡尼京城へ

且下須腐南京総領革が國い政府と た、なほ和文電報取扱をなすべく 五月一日より正式明通に決定し 製直遊無線電話は九日からの連 ロテストの結果広瀬良好なので、 天津十五日信通 天津東京間自

和文国帰取版開始の謎びになるよ んでゐる、脚く上六月初め頃に を主張してをり、これがため行機 て支那側は上海、長崎崩より高和 折動を置けてゐるが、神金につい

ないのでピタクリ、直もに衛生係

今後の都市の

指針ともなる朝鮮市の地部帯令一能その他の客略は 島の主調各都市は近時鐘を開限 一つて一定野職を後退せよとある、「名未締の公将号その他は四米それ 、二例を小すと胸起、映画、以上は 而計準則近く公布

土百名未満 を吹きる」なは前町地がおり次定者くは

| 歌の自成唐華位三米、観空五百名|| 日以内に間出立者上、誠出立なけれ。 独院五百名和選及は地球を含む国。建制は蠍鹿、決定された日から用もの、場際塩、公産戦等の他の建「螻鹿のあつた場合は、震闘された 未確の問題活動制度解、古百五十一ばその理器は許可を與べられない 五米と限定 されてある

則段期は同争の公布と共に生活のされたが、これに伴ふ同金腫行棚

の第一條に建物を建築せんとする れによれば十九ヶ保から殴り、

近く戦励されることとなった、こ であったが、愈よこのほど完了 特殊事門を加味し内地各都市の

愈よ慎飛行士が

全のタクシ

飛行協會から贈る輕快機

KR二型製作進む

條例を参酌

職人配合する事に決定十七百池山 を表面に 国力面に 国力

万里の一齊極重を行ぶ、極重癖は平別十一時の脳目に亘つて管内人は来る二十二目午前十時二十二日

早大勝つ 對帝第一戰

撃跡金の狡術、慶邇の交付、消極。に萬丈の家を貼く強飛行士の歌祭。-タクシーを囲業するとともに月田間転を撤還のために積極的には。に及び、さらに今回半殿民間都是。優飛行士によつて我國院初のエア 。 攻で開始結節四A数一で早 後二時五分から神宮様甥で 002000024 0000000 昭昭昭昭五 五 和和和和和 分 十十十十十分

見えますねエッ言へ 『頭に似ず中々若ら 光で有名な水

争

離か』とは言ふものの嫁しさは、事女兄分成」の報に「あずー家 それもその西三月八日「無

と思発明 軍艦だったとこと 水井さんとが 分地の知らせ「やつばりばも 日これまた『無事

た。」とは源成一間のコソコソモや元がだねここれで原を帰る。 一うちの慰留さん。選ま月山

総付して附近延署通常を開設した。 接し十五日に至り浦屋より戦争に「意識終し第一日で、一日の戦争に、「の戦争に対して、その後来総で戦争に、「日本、展で表統を置いるの子にて取得し、「日本、展で表統を置いる 近く公判を要求 けふの天氣

斯羅言等々で要面は華やかな生活 であたとい、任命な事質も期間し 萬川、安全地帯で撃場の恩得言を 婦女子がる るといらめ

婦女子がる るといちめ

ン異は船駅法道反として起訴され 後収は殆ど限定的と見られてゐる 要求するとになったが、船間の 関重要性を帯びてあるので公利 米國の軍艦 **庾習中衝突** 禁兵裁判所に組附の上國

中 店 显然淡木半小黑色碎 內保蘭人之學子園照著存地 京城商 株式會工大總承黎爾區 株式會工大總承黎爾區 人名人约十五大德森

就や承合セラ

府

者歴党れ
京都西陣局私書由四盟
支
局
長
忠
楽
確
関
な
る
窓
終
神
誌
は

桃の語

細豆鑑器 所願職 添 艦ウイツブル 断突ウイップル號は艦龍間部を破 「演習中別版スミストムソン戦と 「マニラ十五日同心」アメリカ亜 九〇噸)は十四日午後

電話を持つた人状態で見かした。 「京城市人人状態で見かり、 「京城市人人状態で見かり、 「京城市人人状態で見かり、 「京城市人人状態で見かり、 「京城市人人大きない。 「京城市人人大きない。 「京城市人人大きない。 「京城市人人ではいました。 「京城市人人大きない。 「京城市人人、「大きない。」 「京城市人人大きない。」 「京城市人人大きない。」 「京城市人人大きない。」 「京城市人人大きない。」 「京城市人人大きない。」 「京城市人人大きない。」 「京城市人人大きない。」 「京城市人人大きない。」 「京城市人人大きない。」 「京城市人人、「大きない。」 「京城市人人大きない。」 「京城市人人、「大きない。」 「京城市人、「大きない。」 「京城市、「大きない。」 「京城市、「大きない。」 「京城市、「大きない。」 「京城市、「大きない。」 「京城市、「大きない。」 「京城市、「大きない。」 「京城市、「大きない。」 「京城市、「大きない。」 「大きない。」 「京城市、「大きない。」 「京城市、「大きない。」 「京城市、「大きない。」 「京城市、「大きない。」 「京城市、「大きない。」 「大きない。」 「大きない。」

個スミストムソン號は監しを破損 取削べる理定である 能派組成とも死傷者はない、亜細 して海水が機綱家に浸入した、南 いたのも動突動後事情につ ハギレ

津御網大村銀行

※ 京日案内

崎ヶ**オル**シ 病科**大** 病科 た 電話 院 を2736科

告に戻り特に登固にて掲載す告に戻り特に登固にて掲載され、回五十段世名は一回印に五十段世名は一回印に五十

左 住所 氏 名 在 社 方に家族的お世話改度本人来談を 方に家族的お世話改度本人来談を

特別等贝

年恩 金給

特別立替

西大門管內

通ずる電車線路以北の各町は二十 期して周知仙底に残めてゐる 日(月賦)に、その郷路以南は) 四大門町・丁月から蘇浦町方面に 日(火曜)に履行すること、

日本小児

科學會 潜權威 京野 中華 南部 東西 東

御推獎

他の強かな行 賦納のセパー 一世に就

讃者を優待 少女歌劇に

我們對應等 新 井 豐 馬

間の施文堂と御文堂では之を後接 おなじみの果原少女歌調動は十 料の二十銭割引度律数を展布した 日間原城結場に春の新プ 丁上河、本紙市內股份

1旦 就受 職驗

◎ 指間水虫・股間いんさん

0 顏·手 足

の ア L

國債線上償還公告

國庫債券

店、熊本支店鹿兒島派出所、代理店、郵便局ニテ御受領一年五月一日報、「第三十四回)一二年六月 一日期限(第三十四回)一二年六月 一日期限(第三十四回)一一年六月 一日期限(第三十四回)一一年 三 月一日期限(第二十二回)第三十四)

回回回回版 你你你你 一日ヨリ五月一日路ニテ左記ノ通リニ有之五月二日以後へ利子ヲ陥セザルニ 四 一 八四二 六五 錢錢錢 - H J 断丘 回回回 券券券 八三國三二錢

却可致候日ヨリ同 図庫債券 2世八日迄ヲ限リ本行本支店ニ於テ優先賣のニ乘換買受希望ノ向ニ對シテハ四月十七の有者ニシテ同日借換ノ爲發行ノ三分半利

京

居

ンシミルク

は機械的に難いてゐた。何處へ行。私、つれて行づてあげますよつ、て

てなんだか懐しかつた。習美の足・文楽座やつたら、四り盛やがな。

た。橋を渡つて、南堀江の方を歩

○持時間各九時間 ◆消費時間▼五時間 一十六分

軍を廻つてみたが、それらしい男

た。さつき膵な男だと思つたのは

光線の工合かなんかで、智美の見

間違ひだつた。正面から見るとそ

あるからわからなかつた。まだほ

智美には、今自分がどこを歩いて

「だつて、題々すみませんわねる」

あんたはん、ついて来なはれら

去って以来、概も弱もなくなって一の寒肌ない

かった。それに、餓火のもとを一種まれれ、御主の御恩、魏の惠み

【十一局】 闘は、大同玉色の扇面

会 所 縣

銀

▽福田 金北田

二流 争 弱 血 製 譜 3

Gた。併し、態ら版や礎がなくな

『ちょつと、先生……旦那はん…

ちゃならなかった。保護人を得

失がはたとやんだ。

步

智美が後から壁をかけた。義太

雄

(祖子副作詞、洪胤堪作曲(衝鮮) 地作曲(ロ) ね只然ネスト)。

配 役 第四條同類 第五城同棲選

(124)

尹福館作詞、洪陽坡作曲(朝鮮

(ロンハーモニカ 座(二) 生活を心で行く

大日) 姫魈の櫻===京郡戦闘寺同九時〇三分(京) 花めぐり(第) 変とり(第) 変とし

時、ニュース、天氣見込、

ン・開催する場面が、路上を注及 が水に映つて、動的な光の二重奏 悠傷物で倒然的なネオン・サイ

TODK

其の光と人の湯の中を、質美は 旅の機で二十回、あとの小回は

間、智美はなにをすることもなく **得えてゐた。大阪に來てから五日 ・ら心素機筋の、小さた顔人宿で**

言いらと過してゐた。新聞の表 | 撰で、小さく義太夫を口吟んであ しないと、あの道ちや吃度もてる 後から、擦子を見つい疑いて行つ の食地に似た、餓蛛の無い小棒な く、音のたもとに膨れて行った。 は張売った。緋麗二舞波が三人、 想美は立つたまして、港つと非

同六時 三分 (大) 誹資

六時二〇分(東)コドモの新聞(小泉新唱版)

●汚音作曲(□)機 イ)石新屋 田中初

野(二) 東)基礎佛語講 の生涯(四) 十六日番組 (木曜日)

同七時四〇分 今日の天氣見込 文學博士 諸縣 輸入

正午(東)時報、日用品館長、鮮 作曲 二、歌劇 エフゲュー、アメリカ幻想曲 トル たれーモニカー (ロンハーモニカー) 大学 (ロンハーモニカー) 氷解けて適ひらき、小川はチョロ を出り器楽れば、小明はサラ/ (イ)春館別類作詞(照難語) チョロ、草木も熊えて、小島はチ 的風味作曲 (朝鮮品)

薬野 下皮 ふば、私も合せて、歌をうたふ、 一私も無しくしちるし、 1351、1531足機がふけば、工里へいた

(イ)春 洪陽池作曲(明鮮点) 雨唱 が崩げ

京城より全國中職

後六時一

(ロ お日様キラく 間をなめる、つぼみはよろこんで かるへても、つぼみはよろこんで **費爾、小雨、花の雨、濡れて遊は** 挑起城作曲 (頭雞湖) (ロ)私のピアノ

おつかさんや姉さんを囚んで来て おいしざらに、ムニヤノへ 砂で餅をつくり、臓をお膳にして お日様キラーへ演漫もやラー

おち繰の大雄なセウル(京城)み (イ 子守う 二(小県新州歌) らららららら (以下期間と聞じ) 男やのねえねにどこへいた。こん! (イ)水すまし

全く自むに止まれぬものがあらら あやめの他の水すまし、1234 親の上に上駆すれば筒が連絡にたらない。567間いてある、幅いても描い 側が大に三に臭掛りにとうか?。ここも風が吹き、次から次と指して大路へは開窓であらう。なせなら此處、行く、けれど水すましないとはす。これ今までは一大とれては、四番と利か、ヒ、123488である。が、それでは、四番と利か、ヒ、123488である。が、それでは、四番と利か、ヒ、123488である。が、それでは、四番と利か、ヒ、123488である。が、それでは、四番と利か、ヒ、123488である。

電路上での個へだけに三十分近一に臨んでの個へだけに三十分近一 も見えぬ春風を、跳く柳に知るば たりに けり、草も 生え、水も芽

激戦の前奏曲

の野に、長き日鮮の移るまで裏摘み紫生英保り、遊ぶも楽し番 何時かを待ちし花咲きて、日本暖期治二十七年十一月下明の吹る朝 (ハ)四匹のお馬 かになりにけり、炫霧ひ溜さげて

衛生講座 後時 春の豫防衛生 融級に出かけてゐるが、意思退は 内地の人々からは乃木將軍の復制

八段 金 易二郎

總評

於ても諸々の際染病の建生状況を 見ると五月より急激に増加を見て 朝鮮全道より見ても又鮮内各府に 居ります。そこでその年の後所衛、次子保典氏だけでも無事にゐら 離量なのだらうと語り合つてゐる

为木大將 市川左國次 第二位 國門 山岡中佐 市川 左升 同 山岡中佐 市川 左升 同 山岡中佐 市川 左升 同 田村六尉 市川 臺次郎 同 田村六尉 市川 臺次郡 同 田村六尉 市川 臺灣不即 同 松平大尉 市川 臺灣 春野監話 千 宗之春野監話 千 宗之春野監話 千 宗之

(小局が鳴いて居て、きれいなお お馬が通る白馬無馬、白馬黒馬、 同八時 五分 (東) 琵琶 見奇

私のピアノは、よくなるピアノ の向ぶの由こえた、ねえねのお里る、馬子も四人だまつて通る 何つんでかへる、雨障る日暮、灯 Ħ

迦院、その若々と柔かく、姿やさ 石

れるお標連標、松の相に吹く破も一番解羅渓にまもられて、御礼説か

朝の海、出でゆく船に日の丸の、

る船の旅、積荷の歌の響高く

乃木將軍 東京脚掛より 後七.五五

型攻撃も空しく使らに

している。

あり、

とは、

とは、<b 東部にはる一巻村の第二軍司令形 **營舍である。旅順要塞を包晒して** く、要塞は仮然として陥落しない 柳樹房營舍 市川左輛次一筅

む之通ダニ錦座装筒精を銀科用船が十名。 四月十六日 四月十七日

十七日き、物

本紙一萬號記念三千圖懸賞一等常選 恭無斷上演映斷

子 (本の) 域大教受理機博士 (新典) で、 (第14) 「日本の) 域大教受理機博士 (14) にあくり (15) にあくり (15) によって、 子の生涯(五) 朝の修養 孔 九 に鑑然として酬愛を起み立ちつとれ に鑑然として酬愛を起み立ちつと 出すとも彼の高地を一日も見く しいれればならぬと決心するので

第三場 第三軍司令部

同年十二月盛日逝、二百三島地は

ろ山」りの喧戦を受け、最後の強攻撃を 原水 屋る底点の城」といる山縣所車と □ るが中佐は期々からの添へでこれ。 線に立ったい賞日井中佐に願ひ出 スだに落ちない、保東が尉は第一 軍が來合せるが少時は中庭の手削 を許さない、やがてそこへ乃太将

坊やはね乏ねがだいすぎだ、お山 をひいて、四四で通るだまつて 迪 端から厳睨が襲み見られたといる おんなおやうな単一軍少佐が、二〇三届地の航燈の失 其の深後發課節級の最中、 へられたのは万木保典少尉の戦争

間にも絶えず我が軍の完全なる無 へてあるのであった 順の測に市街に多大なる概率を則 中族も男泣きに泣く。しかし此のがに喋べる。敬をもたらした白非 保典機匠の観に送した将車は、 花めぐり(東日

醍醐の櫻

堂本印象井

する動語は春の夜にふさはしいたが醍醐の花見の大衆の湯に鵬田原された堂本藝伯と、干泉家田原された堂本藝伯と、干泉家田原された堂本藝伯と、干泉家田原された

これだ!この味! れ奉仕の 庭 اكر 歴史は、 اكر 食品品 歷 です。 場に、に、 全て この旨さ!

宮門省岡用憲 味の素本舗 **** *** 本 商

G